

■第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
北海道・東北	岩手県	盛岡聴覚支援学校	演劇	ろう者間の歪み	ずっと手話で学ぶ学校にいる生徒のところに、一人の生徒がやってきた。手話で話したい生徒と手話がわからない生徒とのやりとりを演じた。社会に出ると手話がわからない人がいることなどを理由に、口話だけでコミュニケーションを取ろうとする生徒。さて、どうなるでしょうか。	私たちは幼稚園で出会い、高等部までずっと一緒です。手話が主な言語で、何かを言っているのはいつも笑い合い、良き相談相手になっています。最近是一般の方々に劇を披露し、表現する楽しさを知ることができました。	初	－
北海道・東北	福島県	聖光学院高等学校	演劇 ポエム	東日本大震災 ～あの日を忘れない～	『福島県民として伝えられること』をコンセプトにしました。今から14年前に東日本大震災が起きました。高校生は当時2、3歳だったため、よく覚えていないということもあり、地震当時、浜通りに住んでいた先生と中通りに住んでいた先生にそれぞれ話を聞きました。予選動画では、浜通りに住んでいた先生の避難所での経験を劇に取り入れました。今回劇を作成するにあたり、「自分たちができることは何か」を考えた結果、話を聞いたことを「次の世代へ、語り続けること」が自分たちにできること、と意見がまとまりました。あの日のことを風化させない為に「一人でも多くの命が救われるように」と願いを込めて、演劇・ポエムを完成させました。	私たち手話部は、学年関係なく仲が良く、楽しく活動しています。今年は『福島県民だから伝えられること』をコンセプトとし、みんなで切磋琢磨しながら劇を完成させました！本選出場を目指して頑張ります！	4	○
関東	ク:埼玉県 豊:東京都 自:埼玉県	クラーク記念国際高等学校所沢キャンパス・豊南高等学校・自由の森学園高等学校	演劇 ポエム	出会いそして未来へ	聴者ばかりの高校にろう者2人が入学してきた。コーダの女子生徒が話しかけてきて、共通言語の日本手話で楽しく会話をする3人。周りの高校生は素通りする。聴者の男子生徒が手話を見て「兄」という手話表現を見て驚いてしまい怒鳴りつけてしまった。その翌日男子生徒は手話の本を片手に昨日の誤解を謝罪し、もっと手話のことや、ろう文化を教えてほしいと願う。周りの生徒も賛同する。デフサッカーをみんなで見に行きサインエールという応援方法に感動する。ろう者と出会った聴者はろう者を理解し、偏見のない当たり前な未来が待っている。ろう者の手話と文化がいつまでも守られる事を望みます。	ろう者と手話に興味を持った3校の高校生達が集まったチームです。私達の共通言語は日本手話。合同練習では学校の教室を借りたり、公園で集まって練習しています。	ク:初 豊:11 自:初	－
関東	埼玉県	大宮ろう学園	演劇 ポエム	誤解の壁	1923年9月1日に起きた関東大震災では住む家を失い、避難を余儀なくされた人が膨大な数にのぼりました。その後、「朝鮮人が暴動を起こしている」というデマが流布され、自警団による虐殺が各地で起こりました。日本人と朝鮮人を識別するために使われたのが「15円50銭」という言葉です。発音できるかが生死の境になりました。その時、ろう者も誤認され、自警団に殺害されたという史実があります。私たちは、それを知って悲しくなりました。悲しい歴史を繰り返さないよう、人種や障害の有無に関係なく、平等な社会を創っていきたく強く思いました。	私たち一人一人がテーマに対してどうやったら伝えられるか考え、伝えたい熱い気持ちを持って集まったメンバーです。大きな目標を掲げ、それに向かって本気のパフォーマンマンズを見せたいと思います！	4	○
関東	東京都	潤徳女子高等学校	演劇	「大きなかぶ」 ～ろうのおじさんと手話がわからない孫の物語～	手話を学ぶ前の私たちは、ろうの人との関わり方がわかりませんでした。学ぶうちにろうの人のためにできること、手話の難しさに逃げ出さずにコミュニケーションをとることの大切さを知りました。このお話は、昔話をベースに、一つのことと一緒に取り組むことで手話の大切さを学ぶもうひとつの物語です。ろう者のおじさんは、なかなか孫に話してもらえないと悩んでいます。孫は、手話ができないためおじさんとの会話を避けています。そんな中で大きなかぶができました。なかなか抜けないかぶに、孫がおじさんの手助けをします。これをきっかけにふたりは話せるようになるのでしょうか？	私たちは「どんな人にも伝わりやすい手話」を目指して練習に取り組んでいます。今回は「大きなかぶ」を手話劇にて披露します。一年生は全員手話が未経験でしたが協力しながら劇を完成させました。是非ご覧ください！	9	－
関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	演劇	その情報大丈夫？	詐欺や誹謗中傷など、SNS上でのトラブルが後を絶ちません。トラブルに巻き込まれないようにするためには、自分自身の情報リテラシーを高めることも重要ですが、同じくらい大切なのが、誰かに相談し、その人たちの意見を受容して立ち止まって考えることだと思います。この演技では、「仲間」に支えられトラブルを免れた高校生の姿を表現して、情報との向き合い方について改めて考えてもらうことをテーマとしています。何の疑いもなく情報を鵜呑みにしてしまっている序盤の様子から、「仲間」のおかげで危険を回避し、安心した様子で幕を閉じるまでの主人公の気持ちの変化に注目してご覧ください。	横浜南陵高校社会福祉部は、地域のボランティア活動や様々な場で手話ソングを披露するなどの活動をしています。周りの人たちを笑顔にするために、まずは自分たちの活動を和やかな雰囲気で行うよう心掛けています。	10	○
関東	神奈川県	横浜市立ろう特別支援学校	コント	読話って難しい	コントのテーマは「読話って難しい」です。先生の口の形が読み取れず、3人の生徒たちがあれこれと推測を立てていきますが、彼らの行動によってありえない展開になっていきます。8人組ユニット「ダウ90000」のような演劇とコントをかけあわせたパフォーマンスをイメージしながら演技練習を積み重ねました。普段から使っている手話のやりとりを録画し、手話表現や表現の大きさ、身体の向き、表情などを話し合ってきました。笑いが生まれる"間"も意識しています。まだまだ未熟な部分もありますが、たくさん笑いを届けることができたら嬉しいです。	全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場するために、去年から手話楽団を立ち上げました。まだまだ未熟ですが、皆さんに手話と笑いを届けられるように、全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。	初	－
中部	富山県	小杉高等学校	演劇	のんちゃんのおともだち	私たちは高校で生活ビジネス系列に所属し、保育や福祉について学んでいます。子どもたちと関わることも多く、子どもたちに劇を通して、手話に興味を持ってもらいたいと考えています。今回は、本校卒業生の金井恭子さんの「のんちゃんのおともだち」をもとにナレーターと演者に分かれて演じます。見ている人が分かりやすいように、ナレーターと演者が手話や演技をするときに、それぞれが注目しえもらえるようなタイミングを考え、演じています。パンの紹介やのんちゃんのおともだちの小鳥や動物たちとの歌のシーンを子どもたちにもわかりやすいように表現し、みなさんにも楽しんでもらいたいです。	私たち小杉高校の保育・福祉分野の9名は保育や福祉について学んでいます。子どもたちに手話について知ってもらうために、保育園で手話劇を行っています。予選突破を目指して頑張ります。	3	－

■第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
中部	石川県	石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校	演劇 ポエム	私の世界×君の世界＝1つの世界 (読み方：私の世界 カケル 君の世界 イコール 1つの世界)	合同チームとして3年目となりました。最初は、きこえる・きこえない（きこえにくい）ことで、お互い戸惑っていた私たちですが、活動を重ねるうちに、分かり合えるようになり、Oneチームとしての絆ができました。今年は、「この3年間を振り返り、気がついた『無意識にあった思い込み』」に焦点をあて、自分とは少し違う相手とOneチームになり「一つの世界」を目指す過程を表現します。予選では、人と鬼それぞれの視点での相手への「思い込み」を表現し、人と鬼は分かり合うことはできないのか、と問題提起します。「お互いに違うと感じている自分と相手の世界は、本当に別の世界なのか？」1つの世界への私たちの思いを表現します。	結成3年目を迎える、石川県立ろう学校と田鶴浜高校の合同チームです。きこえる、きこえにくいに関係なく、手話という繋がりのできた仲間と、お互いに意見を出し合い、力を合わせて1つの舞台を作り上げました！	石:3 田:12	○
中部	石川県	金沢北陵高等学校	ポエム	言の葉	言葉は、人の心を動かす力を持っています。励まし、勇気を与え、喜びを分かち合う一方で、ときに人を傷つけることもあります。手話もまた、大切な言葉のひとつ。手の動きに想いを込め、心を通わせることができます。私たちは、「言葉の大切さ」を伝えるために、書道パフォーマンスとコラボし、「言の葉」をテーマに表現しました。言葉は誰かに届けるものです。そして、届いたその人の中で育ち、また次の誰かに広がっていきます。書の一筆一筆に想いを込め、手話に想いを乗せることで、言葉の温もりや力強さを描き出しました。私たちの「言の葉パフォーマンス」が、新たな繋がりを生むきっかけとなりますように…そんな想いを込めました。	私たちは、生活福祉系列・書道部・JRC部の中から手話パフォーマンスに挑戦してみたい人たちが集まりチームを結成しました。私たちのパフォーマンスを見て、手話に挑戦してみたいと思う人が増えるようにがんばります！	4	○
中部	愛知県	杏和高等学校	演劇	赤ずきんちゃんと魔法の杖 ～みんなで創る共生の世界～	赤ずきんがお祖母さんの家に向かう道中で、さまざまな出来事が起こり、分かち合うこと助け合うことの意味を学んでいく物語です。思いやりの連鎖が広がり、彼女は不思議な力を秘めた魔法の杖を授かります。これでお祖母さんの足を治してあげられると思った時、狼に食べられそうになった豚が、助けを求めて逃げてきます。その時、赤ずきんが選んだ方法とは・・・？異なる存在が互いに支え合い、調和を築いていく共生社会の尊さを、心の交流を通して観客に問いかける作品にしました。聞こえる人も聞こえない人も一緒に楽しめるように、多くの人が知っている童話を脚色し、表情や動作から内容が分かるように手話表現の工夫もしました。	私たちはJRC部に所属し、ボランティアや手話の普及活動を通じてお互いが助け合い自分らしく生きる事のできる社会の実現を目指しています。「目で見える言葉」の魅力を伝え、多くの人を笑顔にできるよう頑張ります！	10	○
中部	愛知県	高浜高等学校	演劇	歩こう高浜のまち	私たちの高校がある高浜市は県内でもっとも小さな市です。市外から通学する生徒も多いため、高浜のことを実は知らなかったりします。そこで、曲「さんぽ」に合わせて市内を散歩しながら、まだ知らなかった高浜市の魅力を再発見することにしました。歌詞に登場する坂道、トンネル、草っ原、いっぱん橋、たぬきやきつねまで市内で探して見つけました。途中で登場するたぬきは、大きさ5メートルで陶器でできていて迫力満点です。実際に訪れて撮影した風景写真とともに、手話で表現します。これまで個人の活動が多かった手話部ですが、この応募をきっかけに集団演技に初挑戦しました。撮影は緊張しましたが、仲間との作品作りは楽しかったです。	初めてチームで動きのある手話に挑戦しました。「どうしたらもっと手話が伝わるの?」と毎日悩み、仲間と一緒に表情や手話表現を練習してきました。また、手話と一緒に私たちの高浜市を紹介します。	2	－
近畿	京都府	山城高等学校	演劇	しゅわレストランへようこそ！	この作品の舞台は手話で接客するお店です。手話初心者の方々が手話レストランの店員になり、他の店員やお客さんとの交流を通して成長していきます。その中で言葉の壁を越えて「伝える」ことの大切さと楽しさを表現します。観客だけでなく私たち自身も登場人物たちと共に成長し、共に喜びを感じることができるような演技を目指します。この「しゅわレストランへようこそ！」の演技コンセプトは、「感覚と共感を通じて、心伝える」です。聴者と難聴の人が共に働き、共に学び、ともに成長する姿を描くことで、手話やジェスチャーを通じて「伝えることの楽しさ」と「伝わる喜び」を表現します。	私たち手話部は、初心者が集まり、耳が聞こえにくい部員と共に活動しています。練習を通じて、手話を使ったコミュニケーションの大切さを実感し、将来は聴覚障害のある方々との架け橋となれるよう、努力しています。	初	－
近畿	京都府	日星高等学校	ポエム 演劇	手袋を買いに	新美南吉の『手袋を買いに』です。ほとんどの生徒が手話初心者で、手話をするだけで必死な私たちですが、小学校で習った人が多い作品なので、本を読んだ時に『ほわっと』なった気持ちを表現できたらいいなと思って頑張りました。予選演技では、登場人物が狐の親子だけのシーンで終わってしまいましたが、子狐の無邪気さ、昔母狐が人間に追いつけられたことのトラウマの表現が少しでも伝わると嬉しいです。	日星高等学校の手話クラブです。初心者の集まりなので、手話を滑らかに表現することが難しいです。みんなが知っている物語で、易しい言葉遣いの題材を選び、登場人物の優しい気持ちの表現を頑張りました。	6	－
近畿	大阪府	精華高等学校	演劇	花火の光とあなたについて	聴覚と言語に障がいのある阪本海里と、彼女に密かな想いを寄せる清水慶一郎。夏の夜、花火の音だけが聞こえる屋上で、ふたりの静かな時間が流れる。目を閉じれば見える――音のない世界に浮かぶのは、互いの心が重なる光。全編手話で進行し、清水の台詞は音声と手話の両方で表現される。言葉にならない想いが、音を超えて確かに届く。“見ること”と“伝えること”の本質に迫る、二人芝居。	部長が手話を特技としたことから思い立って初挑戦！旅する演劇部・精華高校演劇部は、手話で心動かす舞台を全員でつくり上げます。	初	－
近畿	兵庫県	鳴尾高等学校	演劇	夢を追う努力	私たちの劇では、表面的なことをフューチャーするのではなく、その人の内面の魅力を知るという大切さを第一に、耳が聴こえる・聴こえないに関係なく人が夢を追って努力すること、その環境があることの尊さをコンセプトとしました。この劇を通して健聴者・ろう者や障がいの有無に関係なく、自分自身の力を生かして夢を追うことやその環境の尊さが伝わればと思っています。	私たち鳴尾高校は2年生6人、1年生7人の計13人で活動してきました。手話未経験の私たちは戸惑うことや、うまくいかないこともたくさんありましたが一生懸命頑張ってきました。私たちらしく精一杯頑張ります！！	10	○

■第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
中国・四国	鳥取県	鳥取城北高等学校	寸劇	手話Café	幼い頃はろう学校に通い、その後は通常学校へ移り、長い間、手話から離れていた松本君は「手話パフォーマンス甲子園」をいつも心のどこかで気にかけていた。高校3年生になった今、大会出場のラストチャンス、そして、ろう学校時代の友達と手話で会話したいという思いから最近、手話を始めた。パフォーマンスの内容は手話カフェの店員がお客さんとして来た松本君に手話の魅力を伝えるという寸劇である。松本君がおもいきって手話の世界に飛び込み、次第に手話の魅力を感じ始める様子を「手話カフェ」という設定で表現した。動画内の松本君の注文メニューは『家族の手話』『おおげさな手話』『おもしろい手話』である。	私たちは日頃から様々なボランティア活動に参加しながら、地域のろう者の方々から手話を学んでいます。今年は手話の魅力を紹介するパフォーマンスに挑戦しました。鳥取からみんなで手話を盛り上げましょう！！	12	○
中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校	演劇	きこえない・きこえにくい人から見た鉄道の世界	鉄道の写真を撮ることが趣味で、通学も列車を使っている高校1年生。将来は鉄道関係の仕事に就きたいと考えていますが、聴覚障がいのある列車の運転手はいないことやきこえない・きこえにくい彼が列車に乗っているときに困ったことがたくさんあったことに気付きました。調べ学習を通して、自分だけではなく他のきこえない・きこえにくい人たちも困った経験があることを知りました。自分の経験や調べたことを元にきこえない・きこえにくい人たちだけではなく、みんなが安心して利用できるように目で見ても分かりやすい情報保障がどんな列車でもされてほしいとメッセージを込めて伝えます。	今年は、鉄道の写真を撮ることが趣味の高校1年生1人で挑戦します!実体験を元に「こうなったらいいなあ～」と感じた鉄道の世界をパフォーマンスで披露します。どうぞ、楽しみに!	10	○
中国・四国	鳥取県	境港総合技術高等学校	演劇	くれよんのくろくん	このお話は、さまざまな色の個性たっぷりなクレヨンが出てきます。それぞれの色に存在意義があること、わたしたちみんなが自分らしく暮らしていること、という意味が込められています。また、それぞれの良さを互いに認め合い、助け合うこと、友達に思いやりの心を持って接すること、けんかをしたら「ごめんね」とお互いに謝り、仲直りすることなども大切です。そのメッセージを込めながら、手話での劇を通して、みなさんに日常で使うことが出来る手話を学んでもらったり、一緒に手話をしながら、劇をより楽しんでもらえたらと思います。	私たち福祉科3年こども福祉コースは地域の保育園、福祉施設等で様々な方と交流をしています。また、私たちはそれぞれの個性を活かし、尊重し、信頼できる仲間作りをしてきました。その個性が発揮できればと思います。	12	○
中国・四国	岡山県	岡山県美作高等学校	演劇	金太郎	私たちが住む岡山県には、金太郎のお墓があります。金太郎は、相撲が得意で熊たちと相撲をとっていました。しかし、優しい心を持った金太郎は、けがをした熊を助けるなどして日々過ごしていました。ある日、金太郎は、殿様から街を守役目を担い、旅に出ました。旅の途中で病気になり、この岡山で息を引き取ったとされています。私たちは、将来介護福祉士を目指すコースに所属しています。金太郎のように、誰を助け、誰かを護る存在になりたいと思い、この劇を作りました。	今回で8回目の挑戦となります。私たちは、将来福祉を支える人材となるよう、日々努力を続けています。今回は、地元の昔話を題材にした劇を行います。地元岡山県を盛り上げる劇にご注目ください。	8	－
中国・四国	香川県	尽誠学園高等学校	演劇	自分たちにはなにができるか	今回、「私たちの幸せとはなんだろう・・・」と考えてみました。ちょうど、授業でユニバーサルデザインの増加による生活の変化や、日常の中で私たちができることって何?と考えるきっかけがあったからです。私たちは、「一人一人が思いやりを持って生きてほしい」「一人ぼっちではなくて、必ず誰かと支え合いながら生きているので、一人で悩みを抱え込まないでほしい」という思いに辿り着きました。そして、「それぞれが誰かのヒーローになれるかも!」と強く思い、その想いを演劇にしました。自分たちができることを探し、お互いが助け合うことで、この世界がより豊かになることを願いながら演技をします。	私たちは一人一人が個性的でお互いを助け合い高めあう事のできる仲間です。笑顔が絶えずメリハリがしっかりとしていて、目標に向かって何事にも全力でやりきるということを意識して日々部活動に取り組んでいます。	4	－
中国・四国	愛媛県	済美平成中等教育学校・松山聾学校・宇和特別支援学校	演劇	掛け違う思いやり、隠される本心	近年、障がい者理解は進み、合理的配慮という言葉を目にすることも増えた。しかし、自分の思いと相手の思いが一致することは難しい。良かれと思った行為が相手のためではないことも少なくない。隠された本心は遠慮の塊。相手を知ろうと踏み込めば、互いに傷つけあうこともある。お互いの思いが、適切な配慮となるために何が必要だろうか？高校生の私たちができることを合同チームの経験を通して考えていきたい。今回の作品は、やなせたかしさん作「キラキラ」に影響を受ける。立場や状況により、それぞれが抱く思いに間違いはないが、衝撃的な結末を迎える。そこから考えた先に合理的配慮があった。	私たちは、済美平成中等教育学校、松山聾学校、宇和特別支援学校の3校で活動しています。学校は遠く離れていても心の距離が近く、互いの本音を言い合えるメンバーです。合同チームの絆を見てください。	済:3 松:7 宇:初	済:○ 松:○ 宇:－
九州・沖縄	福岡県	三井高等学校	演劇	使っていこう！	私たちの学校がある小郡市では、まだ、手話言語条例が制定されていません。多くの人が手話を知って、いろんな人が手話を使うようになるといいなと思っています。昨年、インターハイの総合開会式で手話通訳を務め、聴覚特別支援学校の生徒さんと出会いました。手話が言語であると実感した出来事でした。特に聴覚特別支援学校の先生の話が印象に残り、手話が日常で使えることの大切さを感じました。本当は、聴覚特別支援学校の仲間と一緒に手話パフォーマンス甲子園に取り組みたかったのですが、学校行事で叶わなかったのが、この出会いを忘れないように劇にしました。また、小郡市に手話言語条例が早く制定されて欲しいという願いも込めました。	私たちは、ボランティア部の活動で、ボランティアと手話の勉強もしています。手話は、上手ではありませんが、楽しく練習しています。今年は、2年ぶりに挑戦するので、みんな緊張しています。応援お願いします。	11	○
九州・沖縄	佐賀県	佐賀星生学園	演劇	三匹の佐賀ん豚	本劇は、有名な童話「三匹の子豚」をベースに、佐賀県の魅力をふんだんに盛り込み、ユーモラスな物語として再構築したものです。手話初心者でも覚えやすい言葉遣いと、コミカルな展開を重視しました。干満差日本一の有明海、佐賀インターナショナルバルーンフェスタを彷彿とさせる気球、そして世界に誇る有田焼といった、佐賀ならではの要素を物語に織り交ぜました。笑いとともに佐賀の魅力を伝えられる作品です。個性的な子豚たちが巻き起こす騒動を通して、助け合うことの大切さを描きます。笑いと郷土愛、そして手話の楽しさを伝えることを目指した、誰もが笑顔になれるハートフルなコメディです。BGMにもご注目ください。	本校には、学校生活に慣れた経験をもつ生徒が多く在籍しています。手話という言語を通して伝える力を育み、自信を持って人前で発表できるようにになりました。学外での活動は初めてですが、頑張ります！	2	－

■第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト (300文字程度)	チーム紹介 (100文字程度)	参加回数	本大会 出場実績
九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	コント	アンドロイド	今回は落語から離れ、久しぶりに純粋なコントに挑戦しました。大阪・関西万博が開催されることもあり、「未来×手話」をコンセプトに作りました。手話機能のついたアンドロイドと博士が織りなすドタバタコントを繰り広げます。得意とする時事的な話題やメタ表現に加えて、親しみやすいネタも取り入れており、様々な世代の方に笑ってもらえたら嬉しいです。また、昨年から日本手話の表現にも力を入れ、部員全員でNMMやロールシフト、CLの練習にも取り組んでおり、その成果が少しでも出せればよいと思っています。熊ろう手話落語部らしいパワフルでコミカルなコントをお楽しみください。	こんにちは！熊ろう手話落語部です。出場11回目です。今年は2人で演じます。「手話で日本中を笑顔に」「目指せ、笑いのてっぺん」をモットーに、今年もコミカルに演じます。魅せろ！熊聾魂	11	○
九州・沖縄	熊本県	上天草高等学校	書道	どんな小さな～書道×手話×福祉	「どんな小さな」の曲にある「君が選び歩いた道にしか咲くことのない花があるんだ」とあるように、自分たちが選んだ福祉の学びを皆さんに還元できるように、手話でその思いを伝えようと考えました。その思いを自分達が自分達らしく表現できるものは何だろうかと考えた時に、部活で取り組む書道で表現してはどうだろうか、と「書道×手話×福祉」をコンセプトとして演技しました。福祉科は、福祉の学びとして座学だけでなく施設実習に行きます。施設の利用者さんに喜んでいただけるような関わり方や支援の方法を考え実践しています。手話は習ったばかりで上手くはありませんが、共生社会を実現するためにも、今後も学んでいきたいと思っています。	私達は、「どんな小さな」の曲をテーマに手話と書道を組み合わせたパフォーマンスを行いました。手話パフォーマンスを通して、共生社会の実現に向けて、より多くの人とつながり、理解を深めたいと考えています。	3	－
九州・沖縄	宮崎県	鵬翔高等学校	演劇	宮崎のひなた	宮崎は温暖で食べ物が良く育ち、自然がいっぱいで、四季折々きれいな観光スポット、神話にまつわるパワースポットがたくさんあります。宮崎の魅力を手話を通して全国の人たちに伝えたいと思い、宮崎のひなたというコンセプトにしました。	私達は、宮崎の魅力や観光スポットを聴覚障害のある方にも知っていただきたいという想いで、手話を練習しました。私たちの手話パフォーマンスを是非ご覧ください。	2	－
九州・沖縄	宮崎県	五ヶ瀬中等教育学校・宮崎日本大学高等学校	演劇	傍らに	井出安優香さんの逸失利益が一般と同等に認められた。昨年の大会で全国の友達に出会えたこともあり、命や差別への思いが強くなった。親御さんを訪ね安優香さんの生きた温かな時間を知った。聴覚障害を持つ小学生が友だちを作ることは簡単なことではなく、聞こえる子に避けられ、聞こえない子にはなかなか出会えない。しかし、諦めずに飛び込んでいく勇気を教えてくれた一人の女の子の素敵な姿を知ってほしい。11年の彼女の人生は、多くの人や社会に影響を与えた。それは、亡くなったから注目されるものではなく、確かに懸命に生きていたからこそ輝いている。友達と、呼ばせてほしい。彼女の笑顔を多くの方にとってほしい。そんな思いで演じます。	小学生から一緒に手話を楽しんできた二人で、今年は手話劇に挑戦します。昨年の出場で出会った全国の手話を楽しむ仲間への想い、聴覚障害を持つ友だちを通して社会へのメッセージを伝えます。	五:2 宮:2	○
九州・沖縄	沖縄県	陽明高等学校（チバリヨ）	演劇	うちな～ことば	等身大の私たちの高校を舞台に、普段の生徒と先生の会話をイメージしました。県外の人から見て、面白いと言われる沖縄のうちな～ことばを取り入れ、沖縄の文化を学びながら、『へえ！』と思えるような劇にしあげました。観光の際に、よく聞くうちな～ことばではなく、生活の中で当たり前のように私たちが使っている表現を題材にしました。ぜひ、楽しんで見てください。	手話を学び始めて2年目のチバリヨメンバーです。ろう者の方のなめらかな日本手話には及びませんが、私たちなりに頑張りました！また、沖縄ならではのうちな～ことばも織り交ぜています！ぜひ楽しんで見てください！	4	○
九州・沖縄	沖縄県	陽明高等学校（焼肉オハナ）	演劇	沖縄あるある	私たちの劇のコンセプトは、沖縄の言葉と内地の言葉の使い方の違いによって、会話がかみ合わないことがあるという、『あるある』をテーマにしたことです。普段使っている言葉でも、地域によって意味が異なるのが面白く、言葉のすれ違いや勘違いをユニークに表現しました。最後には沖縄の文化も取り入れ、楽しく見てもらえるよう工夫しました。	私たちは陽明高校3年生です。手話はまだ未熟だけど、沖縄出身の私たちなりに地元の文化を取り入れて、見る人にも楽しんでもらえるよう工夫して表現しました。	4	○
中国・四国	広島県	ひろしま協創中学校・高等学校	辞退				3	－